

きょうもあしたも、
みんなで

ふ、
fu

ふ、
fu

ふ、
fu

ま ち と
く ら し と
か ら だ と
ひ と と

川崎病院 広報誌

vol.85

2026.7月号



HP



バックナンバー

ふ、ふ、ふな便利です

かわさきさんからの
便利が届きました

こんな病院が
あったなら

病院は未来の話をする場所
だったんだと、最近思っています。
私はといえば、健診の機会
が充実したおかげで、自分の
未来の、なかなか怖い話を
病院で聞く機会が増えてきました。
これは日ごろの不摂生の結果
であって、同僚は「元気その
もの、憂いなし」というハッピー
な未来が聞いているようで、う
らやましい限りです。そう思う
と、過去の不摂生をなかったこ
とにしてくれる病院があったら
最高に良いと思います。食べ
過ぎや飲み過ぎも日ごろの悩
みもすべてなかったことにし
て、クリーンな体と頭にしてく
れる、そんな病院。これを実現
するのは、薬なのか手術なのか。
はたまたタイムマシンで過去の
自分に指導してくれるのか。
そんなふうに空想すると、病院
で聞く怖い話は、実は未来か
らの警告と言えるのかもしれま
せん。現在は未来から見た過
去です。つまり、病院で今聞い
ているのは、未来からすれば
過去の話。教えてもらって、自
分の望みは半分かなえられて
いるのかな。残りの半分は、不
摂生をしてなかったことにす
るだけ。でも、これが難しい……。

経営企画室
佐藤 大介さん



いま
のわたしと

いつか
の
絵本

いつかに読んだ絵本。
いま、こどもに読む絵本。
いま、わたしに読む絵本。

医療現場でひとの人生や命と向き合うひとたちの
おすすめ絵本を集めました。

もう一度、絵本と出会いませんか。

大人になった今だから 読み直したい絵本

こどもの頃に親しんだ絵本。少ない言葉と豊かな絵から、どれだけのことを幼かった私たちは学んだのでしょうか。大人になった今、読み直すと、また違った発見や気付きがあるかもしれません。

01



スイミー

作：レオ＝レオニ / 訳：谷川俊太郎（好学社）

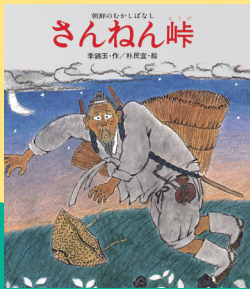
仲間との別れ、寂しさを乗り越え、美しい海の生き物と出会い、旅を続けるスイミー。みんなで集まり、赤い大きな魚の形になって泳ぎ、マグロを追い払う。「ぼくが、めになろう。」強くて優しい心を持ったスイミーは永遠のヒーロー。歌うように声に出して読むと絵の中にどんどん引き込まれていきます。



リハビリテーション部 鯉田 遼さん

四宮さん解説！ 小学校の教科書に掲載されているのは実は省略版です。大人になって読み直し、原作の長さに驚くひとが多いので、原作もぜひ。絵の緻密さに注目して読みたい作品です。鯉田さんのように、声に出して読むと、記憶にも残りやすいですよ。

06



さんねん峠

作：李 錦玉 / 絵：朴 民宜（岩崎書店）

「転ぶと三年しか生きられない」という峠の言い伝えを、逆転の発想で乗り越える民話です。こどもの頃はトンチ話として楽しんでいましたが、医療現場で働く今は「病は気から」という真理を突いていると気がきました。気の持ちようによって体も元気になれると教えてくれる作品です。

四宮さん解説！ 『スイミー』同様、小学校の教科書で親しんだひとも多い韓国の民話です。山本さんの「病は気から」に通じるというコメントは本当にそのとおりだと思います。大人になって読むと、出来事をどのように受け止めるとよいのか、心のありようを教えてください。

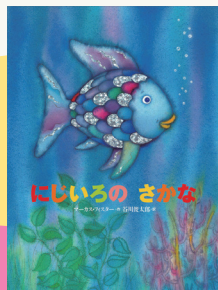


医療機器の修理ができます 臨床工学部 山本 泰清さん

病は気から

医療機器の修理ができます

友情と絆



にじいろのさかな

作：マーカス・フィスター / 訳：谷川俊太郎（講談社）

キラキラと輝くうろこを持つお魚「にじうお」が主人公の物語です。表紙だけではなく、ページごとにきらきら光るうろこが魅力のひとつで、シリーズを通して友情とはなにかを考えさせてくれる物語です。小さなお子さんから大人まで、わくわくした気持ちで読めるので、おすすめです。

四宮さん解説！ こどもの頃はキラキラ光る美しい絵に惹かれますが、大人になると内容の深さに気づきます。装丁が美しく、インテリアとして生活空間に飾って楽しむという大人ならではの味わい方もできます。本にはモノとしての魅力もあります。

02

超音波検査の習得を頑張っています



超音波検査部 常本 志帆さん



カモメになったペンギン

作：ジョン・P・コッター、ホルガー・ラスゲパー
絵：野村辰寿 / 訳：藤原和博（ダイヤモンド社）

住んでいる氷山が溶け始めたペンギンたちが、勇気をもって新しい場所を目指す物語です。変化は怖いけど、どう進めばいいかを楽しく読めます。私は、得意なことがバラバラな5羽がチームを組むところが好きです。個性を活かして協力し合う姿に、あなたもきっと一歩を踏み出す勇気をもらえます。

四宮さん解説！ 変化を恐れずチームで困難を乗り越える姿を描いているビジネス書的な一面もある文章が多めの作品です。チームワークの本質を教えてくれる普遍的な一冊で、AI時代の仕事の進め方や専門性のあり方などにも活かせる学びが詰まっています。



医療情報管理室 伊藤 香織さん

患者さんの診療情報管理を行い、病院運営を支えています

個性とチームワーク

今回の特集では、医療の現場で働く川崎病院職員のおすすめの絵本を6冊ピックアップ。神戸市立兵庫図書館の司書の四宮桃花さんに解説コメントをいただきました。
人生に絵本をもう一度。

03



ずーっと ずっと だいすきだよ

作・絵：ハンス・ウィルヘルム / 訳：久山太市（評論社）

少年と犬のエルフィーと一緒に成長していく日々と別れを描いた物語です。別れの場面は悲しいですが、毎日「だいすき」と伝え続けたことで、後悔のない別れができたことが心に残っています。大切な人に気持ちを伝えることの大切さを教えてくれる一冊だと思います。

四宮さん解説！ 別れをこどもに伝えるのは難しいもの。喪失に慣れないこどもがこどもなりに受け止められるように、あるいは喪失を経験して大人になったときにそれを受け入れられるように描かれています。絵本だからこそできるメッセージの伝え方がきっとあります。



広報室 柏原 未希さん

地域の方と他愛もない話で盛り上げられる！



きょうはそらにまるいつき

作・絵：荒井 良二（偕成社）

空に浮かぶまるい月の下、人や動物、自然がゆるやかにつながり、何気ない一日のあたたかさを描いた作品です。大きな出来事がなくても、静かな時間に豊かさがあることを教えてください。何気ない日々を目を向けると、そこには小さな美しさや大切な時間があることを気付かせてくれます。

四宮さん解説！ 国際的にも高く評価されている荒井良二さんの絵本ですね。この作品は、文章が少なく、細部まで描き込まれた絵をじっくりと読み解く楽しさがあります。読んでいる時間そのものがゆったりとした豊かさをもたらしてくれる一冊ですね。



在宅での医療、暮らしを支えます！ 川崎在宅クリニック 武田 華太さん

在宅での医療、暮らしを支えます！

神戸市立兵庫図書館
司書さんが解説！



児童担当 四宮 桃花さん

▶ 2026年7月～9月のイベント紹介

7月20日(月・祝)10:00～15:00 **無料**

まちのZINEフェス & インディーマーケット in 神戸ふたば・夏
文具交換・救急車ぬりえ

場所：ふたば学舎

7月25日(土)11:00～15:00 **無料**

かわさき健康講座
夏休み特別企画

要予約

まなつのじごく @川崎病院
お面づくりワークショップ

場所：川崎病院 西館5階会議室

8月20日(木)14:00～15:30 **無料**

かわさき健康講座
応急手当と防災

要予約

講師：看護師 成枝由季子
場所：新湊川ふれあい会館

9月25日(金)14:00～15:00 **無料**

かわさき健康講座
病院と医療費のしくみ

要予約

講師：経営管理部 医事課 天野尚美
場所：神戸市立婦人会館 4F「つばき」

9月29日(火)11:00～ ※なくなり次第終了

第8回 まちかどマルシェ
【お菓子】バームクーヘン工房 Fullmoon

場所：川崎病院
西館3階北出入口横(屋外)

NEWS

⬇️ 外来、病棟にフリーWi-Fiを
設置しました。

⬇️ 『みんなの救急車』の出動回数は
800回を超えました！

かわさきさんの
ふ、ふ、ふな日常

川崎病院の職員がリレー形式で
お送りする、1コマの日常。



3歳差兄弟なのに…
双子みたい…笑

このマチこのヒト

まちに飛び出す図書館
神戸市立兵庫図書館



左 児童担当 四宮さん / 右 館長 埜下さん

施設について

神戸市兵庫区駅南通5-1-1
キャナルタウンイースト2階
078-682-9501

平日・土曜：10:00～20:00
日曜・祝休日：10:00～18:00 毎週月曜 定休日



JR兵庫駅前に位置し、今年で開館30周年を迎える兵庫区エリアの図書館です。貸出カウンターを飛び越えたユニークな活動が特徴で、屋台を引いた出張図書館や、館内を丸ごと使ったお化け屋敷イベントなど、地域のひとたちが楽しみ、本と自然に出会える企画を次々と打ち出しています。

30周年の後半も特別なイベントを予定しています。10月24日(土)には「循環」をテーマに地域事業者と連携する「ぐるぐる広場」を開催。11月22日(日)には、屋外に畳を敷いて絵本を楽しむ「みんなの青空図書館」を開催予定です。お楽しみに！

編集後記

4月から外来待合室に図書コーナーを設置しました。選書は神戸市立兵庫図書館に依頼し、定期的に入れ替えています。本との思いがけない出会いが、待ち時間を少しだけ豊かにしてくれたらうれしいです。最近、個人的に大きな喪失体験が続きました。何かを失うたびに、何かを得るような不思議な感覚がありました。そんな時期に同図書館で取材があり、埜下さんと四宮さんの話が深く心に響きました。絵本の力は侮れません。同じ1冊でも自分の状態によって

別の光景が見え、手にした瞬間の気持ちがそのまま本の意味になります。久しぶりに開くと以前は気付かなかった作者の意図が分かり、絵本は正直な鏡だと思いました。取材後、絵本を1冊買いました。時間が経って読み返すことをイメージし、家族のために選びました。相手の未来を思い描き、本を贈ってみてください。その方を思って選んだあなたの温かい気持ちが、未来に届けばいいなと思います。

Instagramで情報を発信中！



医療法人 **川崎病院**
KAWASAKI HOSPITAL

〒652-0042
神戸市兵庫区東山町3-3-1
078-511-3131
www.kawasaki-hospital-kobe.or.jp

発行責任者：病院長 西村元延
編集責任者：広報室 黒石枝里奈